太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol .187
発行日
2024年8月28日

尾島町祇園祭

7月13日（土）、14日（日）の2日間にわたり、尾島町で祇園祭が開かれました。

天王町の上町では、朝早くから須賀神社に区民が集まって幟（のぼり）立て、注連縄（しめなわ）飾り、神輿の飾り付けなどを行いました。

今年は5年ぶりに御霊渡御（みたまとぎょ）が行われました。これは、巫女、9名の白丁、神社総代、地区代表（1丁目､2丁目、3丁目、4丁目、上町、裏尾島の6町の代表）が各地区を巡り神事を行う儀式です。

太鼓の「ドン、ドン、カッ、カッ、・・・」という響きの中、町内を一周します。昔からの懐かしい景色と太鼓の音が尾島の町に戻ってきました。

チェックポイント

祇園祭をきっかけに子どもからお年寄りまで多世代の交流が生まれ、顔の見える関係が築かれます。このような、人と人との「つながりのある地域」は5年後、10年後も「住みやすい。住んでいてよかった。」と思える、まさに「地域のお宝」です。
伝統文化の継承は決して簡単なことではありませんが、地域の方が祇園祭を大切に思う気持ちと、自治会長を中心とした関係者の尽力によって、大切に受け継がれています。

御霊渡御（みたまとぎょ）

総勢18名が1丁目から上町まで、太鼓を鳴らし疫病厄除けのお払いをしながら回り上町会館で直会（なおらい）を行いました。

子ども神輿の巡行

子ども達が、お父さんやお母さん、祭りを支えてくれる上町の青年団”上若会”の協力のもと、上町の町内を一周しました。子ども達の「わっしょい、わっしょい」の元気なかけ声、ときどき水を浴びせられたときの「わー」とか「きゃー」という悲鳴が町内に響き渡りました。

太鼓の披露

少ない練習回数でしたが、息の合った演奏に道行く人も耳を傾けていました。

〈お問合せ〉太田市社会福祉協議会　地域福祉係　住所：太田市飯塚町1549　電話：0276-46-6208